| 授業科目名 | インクルーシブスポーツ | 単位数 | 2 |
|---|---|---|---|
| 担当教員名 | 渋谷聡 | 担当形態 | 単独 |
| 実務内容<br>（実務家教員の場合） | | | |

「学位授与の方針」との関係

本授業は、「学位授与の方針」のうち、A から F の項目すべてに該当する。

授業の到達目標及びテーマ

（１）共生社会について、説明することができる。
（２）スポーツの意義と価値を理解することができる。
（３）インクルーシブスポーツとはどのようなものかを自分の言葉で説明できる。

授業の概要

近年、共生社会を目指すために教育分野を中心として「インクルーシブ」という言葉が広まっている。星槎大学では、「人と人、人と自然とが共生する社会の創造に貢献する」ことを建学の精神とし、開学当初から共生を科学する学部として様々な分野から共生社会を目指した教育や研究が行われている。スポーツ身体表現専攻では、これらの取り組みの 1 つとして、インクルーシブスポーツを提唱している。

本授業では、インクルーシブスポーツとは何か、共生社会とどのように関わっていくのかということを様々な角度から検討していく。

授業計画

第１回：共生とは何か
第２回：人と人との共生とは何か
第３回：共生社会を目指すために必要なスポーツとは何か？
第４回：インクルーシブとは何か
第５回：スポーツの意義と価値
第６回：障がい者スポーツの現状
第７回：競技スポーツとしてパラリンピックがもたらすもの
第８回：アダプテッドスポーツの歴史と現状
第９回：ユニバーサルスポーツの取り組み
第１０回：インクルーシブスポーツとは何か
第１１回：インクルーシブスポーツの創造
第１２回：インクルーシブスポーツとインクルーシブな体育の違い
第１３回：インクルーシブスポーツと共生社会
第１４回：インクルーシブスポーツの課題
第１５回：まとめ
定期試験

教科書

・山脇 直司（編）『共生科学概説　共生社会の構築のために 教育・福祉・国際・スポーツ（星槎大学叢書）』かまくら春秋社　2019 年　ISBN-13: 978-4774080086
・スポーツ庁『令和 3 年度「スポーツの実施状況等に関する世論調査」について』2022 年
https://www.mext.go.jp/sports/b_menu/houdou/jsa_00098.html

参考文献

（１）渋谷聡，林直樹，高木由起子（2015）「スポーツにおける共生認識の特性について」星槎大学附属研究センター研究集録 vol.10，pp.68-73．ISSN：2188-045X．

（２）渋谷聡，服部由季夫，林直樹「共生社会におけるスポーツのあり方を考える」星槎大学附属研究センター研究集録 vol.9，pp.37-39．ISSN：2188-045X．

（３）細田満和子，渋谷聡，吉野ゆりえ（2014）「インクルーシブスポーツの課題と可能性－共生社会におけるスポーツについて」共生科学研究（星槎大学紀要）No.10，pp.136-144．ISSN：1884-1368．

（４）草野勝彦他（2007）「インクルーシブ体育」の創造」市村出版，ISBN：9784902109092C3037

（５）矢部京之助，草野勝彦，中田英雄（2004）「アダプテッド・スポーツの科学～障害者・高齢者のスポーツ実践のための理論～」市村出版，ISBN：9784902109016

※その他、必要に応じて適宜紹介する。

学生に対する評価

レポート評価（５０％）、科目修得試験（５０％）を総合して評価する。